

第3次香川県がん対策推進計画に基づく進行管理及び今年度の取組みについて

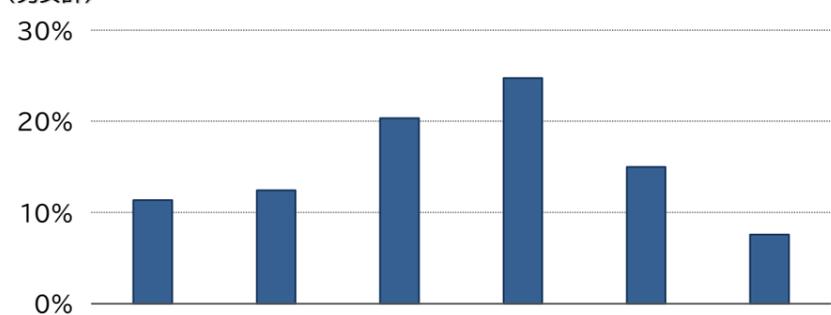
全体目標

■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	令和5年度の取組み(見込みも含む)																																																	
	■がんの年齢調整死亡率(75歳未満) 男性 女性 (参考)がんの年齢調整死亡率、増減率(性別・部位別、75歳未満) 国立がん研究センターがん情報サービス	H27 101.9 53.1	R4 76.0 50.0	88.2 47.4	◎ ○		(参考)がんの死亡者数 (参考)がんの罹患者数 (1年間の新規患者数)																																																	
	単位:年齢調整死亡率(人/10万人)、増減率(%) 全がん 胃 肺 大腸 子宮 乳						<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全がん</td> <td>1,762</td> <td>1,245</td> <td>3,007</td> <td>4,912</td> <td>3,463</td> <td>8,375</td> </tr> <tr> <td>胃</td> <td>219</td> <td>133</td> <td>352</td> <td>808</td> <td>356</td> <td>1,164</td> </tr> <tr> <td>肺</td> <td>458</td> <td>152</td> <td>610</td> <td>722</td> <td>385</td> <td>1,107</td> </tr> <tr> <td>大腸</td> <td>197</td> <td>156</td> <td>353</td> <td>632</td> <td>484</td> <td>1,116</td> </tr> <tr> <td>子宮※</td> <td>—</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>—</td> <td>234</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>乳</td> <td>—</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>—</td> <td>737</td> <td>737</td> </tr> </tbody> </table> 令和4年人口動態統計 ※子宮は子宮体と子宮頸を含む。		男	女	計	男	女	計	全がん	1,762	1,245	3,007	4,912	3,463	8,375	胃	219	133	352	808	356	1,164	肺	458	152	610	722	385	1,107	大腸	197	156	353	632	484	1,116	子宮※	—	51	51	—	234	234	乳	—	123	123	—	737	737
	男	女	計	男	女	計																																																		
全がん	1,762	1,245	3,007	4,912	3,463	8,375																																																		
胃	219	133	352	808	356	1,164																																																		
肺	458	152	610	722	385	1,107																																																		
大腸	197	156	353	632	484	1,116																																																		
子宮※	—	51	51	—	234	234																																																		
乳	—	123	123	—	737	737																																																		
	平成17年(2005) 令和4年(2022) 増減率(%) (参考)全国(2022) (参考)全国との差						全国がん登録(2019) (罹患者数は全国がん登録から最新データが出ていないため昨年(R4)と同じ)																																																	
	※子宮は子宮体と子宮頸を含む。 国立がん研究センターがん対策情報センター(※人口基準は昭和60年モデル)																																																							

目標達成“◎”、策定時よりも改善した“○”、現状維持“△”、悪化“×”

1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	令和5年度の取組み(見込みも含む)
(1) がんの発症予防の推進	■成人の喫煙率 (男女計)  ①喫煙対策 県民健康・栄養調査 令和4年県民健康・栄養調査	H28 16.0%	R4 15.4%	8.0%	○		○改正健康増進法に則した受動喫煙対策 ・望まない受動喫煙を防止する改正健康増進法の内容に則し、各保健所と連携して一般住民、事業所等への周知や相談指導等を実施。 ○各種イベント等における周知啓発 ・世界禁煙デー(5/31)、禁煙週間(5/31~6/6)にあわせたポスター掲示等を実施。 ○かがわ健康ポイント事業 ・日々の健康づくりや健康診断の受診等に対するインセンティブを設け、アプリを使って楽しみながら継続的に健康づくりを実践する「かがわ健康ポイント事業(マイチャレかがわ!)」を実施。 ・毎日の取組み目標(マイチャレ)に「禁煙」を設けて参加できるほか、がん検診の受診でポイントを加算。 ○働き盛りの健康づくり支援事業 ・全国健康保険協会香川支部と連携して、中小企業の従業員とその家族の生活習慣の改善やがん検診・特定健診の受診率向上を図るなど事業所ぐるみの健康づくりを推進。禁煙に関する取組みも評価し促進。(健康宣言事業所数 722事業所/11月20日現在) ○県民への普及啓発、情報提供等 ・県ホームページで禁煙治療可能な医療機関の情報を掲載。

目標達成“◎”、策定時よりも改善した“○”、現状維持“△”、悪化“×”

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	令和5年度の取組み(見込みも含む)
(1) がんの発症予防の推進	② 食生活、運動等の生活習慣の改善	県民健康・栄養調査	271g H28 9.5g	244.5g R4 13.0g R4		350g [※] 8g [※] 9,000歩 [※] 8,500歩 [※] 36% [※] 33% [※] 12.4% [※] 6.7% [※]	○県民への普及啓発、情報提供等 ・県ホームページで禁煙治療可能な医療機関の情報を掲載。 ○かがわ健康ポイント事業(再掲) ・全国健康保険協会香川支部と連携して、中小企業の従業員とその家族の生活習慣の改善やがん検診・特定健診の受診率向上を図るなど事業所ぐるみの健康づくりを推進。 ○働き盛りの健康づくり支援事業(再掲) ・全国健康保険協会香川支部と連携して、中小企業の従業員とその家族の生活習慣の改善やがん検診・特定健診の受診率向上を図るなど事業所ぐるみの健康づくりを推進。 ○周知啓発 ・健康づくり出前講座により、がん予防に効果的な生活習慣や食習慣を啓発。 ※ 健やか香川21ヘルスプラン(第2次)の目標値(R4年度)
	③ 感染に起因するがん予防対策	地域保健・健康増進事業報告 子ども家庭課調 地域保健・健康増進事業報告	H28年度 H28 H28	R4 R2 R2			○肝炎ウイルス検査事業 ・県内の保健所及び指定医療機関でB型肝炎・C型肝炎ウイルス検査を実施。 ○肝炎医療費助成事業 ・B型肝炎患者、C型肝炎患者等に対する抗ウイルス治療にかかる医療費の助成を実施。 ○陽性者フォローアップ事業 ・B型肝炎・C型肝炎ウイルス陽性者に対して、医療機関への受診・受療勧奨、及び受診状況の確認を実施。 ○感染に起因するがんに関する周知啓発 ・HPVワクチン接種等については、定期接種であることの周知など、子宮頸がんの正しい知識の啓発のため、マンガ本を配布。
(2) がんの早期発見・早期治療の推進	① がん検診の受診率の向上	国民生活基礎調査(3年毎)	H28	R4	55%以上	全国平均(R4) 41.9% 49.7% 45.9% 43.6% 47.4%	○がん検診の受診啓発等 ・がんの発症予防・早期発見啓発事業と併せて、県民へ広報・啓発を行う。 ○ピンクリボンかがわ県協議会等と協働した乳がん検診啓発 ・乳がん月間である10月にサンポート高松シンボルタワー(10月1日~10月3日)と丸亀町商店街(10月1日~10月31日)のライトアップイベントの開催 ・ピンクリボンポスターコンテストの開催 ・かがわマンモグラフィサンデーでの受診者に対してピンクリボングッズを配布。 ・企業グループ「香川県がん検診受診率向上プロジェクト」との協働によるポスター・リーフレットの作成、配布。 ○かがわマンモグラフィサンデー事業 ・乳がん月間である10月の休日に、香川県総合健診協会をはじめとする検診機関・医療機関の協力により、乳がん検診・子宮頸がん検診を行う「かがわマンモグラフィサンデー」を実施。 ○女性がん検診受診率向上のためのナッジ活用研修会 ・効果的な勧奨によってがん検診と精密検査の受診率向上を図るため、設計したナッジの効果を検証し改善を行うための、効果検証の手法についての研修会を開催。 ○がん診療施設設備整備事業 ・がん検診実施体制の整備のために必要な医療機器及び臨床検査機器等の整備に要する経費を補助。(昨年度実績 3医療機関)

目標達成“◎”、策定時よりも改善した“○”、現状維持“△”、悪化“×”

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	令和5年度の取組み(見込みも含む)
(2) がんの早期発見・早期治療の推進	② 精密検査の向上の受診 ■がん検診精密検査受診率 □がん検診精密検査受診率(各部位) 胃がん 肺がん 大腸がん 子宮頸がん 乳がん	地域保健・健康増進事業報告	77.1% H27	82.8% R3年度	90%以上	○	全国平均(R3) ○がん検診の受診啓発等(再掲) ・精密検査の重要性についても普及啓発を行う。 ○精密検査協力医療機関名簿の作成・周知 ・要精密検査と判定された者への情報提供に資するため、精密検査に必要な要件を満たす医療機関からの届出により、名簿を作成、周知。 80.8% 83.7% 68.9% 74.8% 89.5%
	③ がん検診の充実の精度管理 □国が示した精度管理・事業評価項目を85%以上実施する市町数 胃がん(エックス線) 胃がん(内視鏡) 肺がん 大腸がん 子宮頸がん 乳がん	健康福祉総務課調	H29年度	R4年度			○5がん各部会の開催 ・市町のがん検診の結果を評価し、国の指針に基づき適切な精度管理を行うため、がん種ごとに部会を開催。 ○がん検診の精度管理調査及びがん検診従事者講習会 ・がん部会によるがん検診従事者講習会を開催。 ・がん検診の精度管理調査を市町及び受託医療機関に対し実施。 14/17 15/17 15/17 13/17 12/17 12/17

市町による質の高いがん検診の実施に必要な遵守項目が示されている。例:検診の不利益など受診者へ説明すべき項目、検診を医療機関等に委託する際に仕様書に記載すべき項目

目標達成“◎”、策定時よりも改善した“○”、現状維持“△”、悪化“×”

2. 患者本位のがん医療の実現

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	令和5年度の取組み(見込みも含む)
(1) 充実とチーム医療の推進	□外来化学療法加算の算定医療機関数 □がんゲノム医療拠点病院・連携病院数 (参考)がん診療連携拠点病院等の指定状況(R5.4.1) ・都道府県がん診療連携拠点病院: 香川大学医学部附属病院 ・地域がん診療連携拠点病院: 香川県立中央病院 香川労災病院 高松赤十字病院 三豊総合病院 ※指定期間は、いずれもR9.3.31まで。	診療報酬施設基準 健康福祉総務課調	- 0 H28年度	27 R5 4 R4年度			○がん拠点病院等整備指針によるがん医療の提供 ・国の指定を受けた5つの拠点病院等において、国の指針に基づき、がんの各治療法等の充実や多職種でのチーム医療に取り組んでいる。 ○がんゲノム医療の提供体制整備 ・がんゲノム医療拠点病院に香川大学医学部附属病院が、がんゲノム医療連携病院に県立中央病院、高松赤十字病院、香川労災病院が、それぞれ指定されており、がんゲノム医療を提供する体制を整備。 ○免疫療法の正確な情報の周知啓発 ・免疫療法の正確な情報や、県内拠点病院等における実施状況を周知。
(2) 特性や世代に合わせたがん対策	(参考)小児・AYA世代のがん罹患者数 (1年間の新規患者数) 0-14歳 15-19歳 20-29歳 30-39歳 男 7 1 13 43 女 10 2 17 78 計 17 3 30 121 全国がん登録(2019) ※AYA世代:思春期・若年成人世代 (Adolescent and Young Adult) ※罹患者数は全国がん登録から最新データが出ていないため昨年(R4)と同じ						○小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業による治療費の助成 ・令和3年4月から開始された国の事業に準じて、小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業を実施している。子どもを産み育てることを望む小児・AYA世代のがん等の患者が将来に希望を持って治療に取り組めるよう支援するため、生殖機能を温存する治療(妊孕性温存治療)に要する費用の一部を助成し、臨床データ等に基づく有効性・安全性の高い妊孕性温存療法の普及に取り組む。 ・医療従事者や相談対応者向けの研修会の開催を医療機関に委託して開催する。 ・がん拠点病院、生殖医療実施医療機関等によるがん・生殖医療連携ネットワークを構築し、対象者が適切な妊孕性温存療法を受けられる体制整備と、相談支援体制の確保に向けて連携を図る。 ○自宅や介護施設で療養生活を送る人への対応 ・多職種連携を図るための医師、看護師及び介護支援専門員など多職種を対象とした専門性の高いシンポジウム等の開催や、地域の医療機関等において在宅医療・介護連携の相談窓口を担えるコーディネーターの養成など、在宅医療・介護を担う人材の育成 ○小児・AYA世代のがん患者のニーズへの対応 ・拠点病院において、国の指針に基づき、AYA世代のがん患者の治療、就学、就労、生殖機能等の状況や希望を確認した上で、診療等を実施。

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標
(3) がん登録の推進	■がん登録の精度向上 DCN(DCI)※ DCO ※平成28年登録データから、統計手法が変更され、DCNに代わってDCIが用いられるようになったが、望ましい水準は変わらないとされている。 DCN:死亡小票データのがんによる死亡確認で初めてがん罹患が把握された者の割合(Death Certificate Notification) DCI:DCNのうち遡り調査の結果がんでなかった者を除いた割合(Death Certificate Initiated) DCO:遡り調査を行っても診断情報が把握できない者の割合(Death Certificate Only)	全国がん登録、地域がん登録 ※「全国がん登録」からの最新データ提供がないため、昨年と	H25 9.6% 5.4%	R1※ 3.9% 2.5%	10%以下 5%以下	◎ ◎	○全国がん登録事業等の実施 ・香川大学医学部附属病院内の香川県がん登録室において実施。 ○がん登録情報の活用 ・全国がん登録の集計が確定したことに伴い、がん登録情報の利用に必要な手続きについて、県ホームページや市町がん対策担当者意見交換会等で周知。 ・がん検診啓発資材等に、がん登録情報を活用。

目標達成“◎”、策定時よりも改善した“○”、現状維持“△”、悪化“×”

3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	令和5年度の取組み(見込みも含む)
(1) 緩和ケアの推進	■緩和ケアチームを有する医療機関数 ■緩和ケア病棟(病床)を有する病院 <input type="checkbox"/> 緩和ケア研修の修了者数 うち拠点病院以外の医師・歯科医師数 <input type="checkbox"/> 緩和ケアチームによる年間新規診療症例数 <input type="checkbox"/> 緩和ケア病棟(病床)の延べ入院患者数	医療施設調査 診療報酬施設基準等 健康福祉総務課調 拠点病院現況報告 香川県がん診療連携協議会	12病院 H28 4病院 H28 218人 H28年度 - 748件 H29年度 377人 H28年度	16病院 R5 3病院 R4 73人 R4年度 2人 R4年度 653件 R4年度 385人 R4年度	15病院 5病院	◎ ×	○緩和ケア研修会の開催 ・拠点病院において、がん診療に携わる医師、歯科医師及びその他の医療従事者に対して、国の指針に基づく緩和ケア研修会を開催。 ○「地域の療養情報」の作成・配布 ・がんと診断された方が必要な情報を得られるよう、拠点病院や市町、患者会等と協力して周知・配布。 ○がん患者等に対する相談業務委託 ・がん患者等と同じ立場の者による相談(ピアサポート)の機会を設けることにより、がん患者等の療養生活等に対する支援を実施。 ○がんピアサポート研修会の開催 ・がん患者会の会員を対象に、ピア・サポートに関する知識・技術の向上を目的とした研修会を開催。 ○がん診療連携拠点病院等への専門家等派遣 ・がん患者やその家族の相談や療養生活の質の向上につながる相談等に対応する専門家を派遣。
(2) がん情報提供体制の充実や	<input type="checkbox"/> 相談支援センターの認知度 <input type="checkbox"/> 相談支援センターの相談件数 <input type="checkbox"/> 病名告知や治療方針についての患者の理解度 相談支援センターでの相談内容 割合(%) がんの治療 24.4 症状・副作用・後遺症 11.3 不安・精神的苦痛 9.4 食事・服薬・入浴・運動・外出など 9.3 医療費・生活費・社会保障制度 8.8 在宅医療 7.1 転院 6.1 ホスピス・緩和ケア 4.8 介護・看護・養育 3.6 上記以外(受診方法、社会生活など) 15.3 <small>令和4年度拠点病院現況報告</small>	香川県がん患者ニーズ調査 拠点病院現況報告 香川県がん患者ニーズ調査	32.2% H27 9,869件 H29年度 91.8% H27	85.3% R4 13,754件 R3年 87.9% R4			○「地域の療養情報」の作成・配布 ・がんと診断された方が必要な情報を得られるよう、拠点病院や市町、患者会等と協力して周知・配布。 ○がん患者等に対する相談業務委託 ・がん患者等と同じ立場の者による相談(ピアサポート)の機会を設けることにより、がん患者等の療養生活等に対する支援を実施。 ○がんピアサポート研修会の開催 ・がん患者会の会員を対象に、ピア・サポートに関する知識・技術の向上を目的とした研修会を開催。 ○がん診療連携拠点病院等への専門家等派遣 ・がん患者やその家族の相談や療養生活の質の向上につながる相談等に対応する専門家を派遣。
(3) がん社会連携・支援に基づく	<input type="checkbox"/> 地域連携クリティカルパスの実施件数 <input type="checkbox"/> 自宅等※で亡くなるがん患者の割合 <small>※自宅、介護老人保健施設、老人ホーム</small>	香川県がん診療連携協議会 人口動態統計	124件 H28年度 15.5% H28	165件 R4年度 26.5% R4			○拠点病院等における地域連携の促進 ・拠点病院等において、地域の医療連携のツールである「地域連携クリティカルパス」や「私のカルテ」を運用。 ○自宅や介護施設で療養生活を送る人への対応(再掲) ・多職種連携を図るための医師、看護師及び介護支援専門員など多職種を対象とした専門性の高いシンポジウム等の開催や、地域の医療機関等において在宅医療・介護連携の相談窓口を担えるコーディネーターの養成など、在宅医療・介護を担う人材の育成 ○人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発 ・人生の最終段階における医療・ケアを県民が自らの希望に基づき決定できる体制の確保を図るため、関係者の資質向上を目的とした医療従事者向け研修を開催予定。

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	令和5年度の取組み(見込みも含む)
(4) 取り問が巻題んくへ患社の者会的応をな	□がんと診断後も仕事を継続している割合	香川県がん患者ニーズ調査	66.8% H27	71.7% R4			<p>○がん患者等の仕事と治療の両立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 香川県地域両立支援推進チームによる、がん患者・経験者の仕事と治療の両立支援を実施。 治療と就労の両立について、香川労働局や協会けんぽ香川支部と協力し、事業者へ働きかけ。 <p>○療養中の生徒等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者やその家族の意向を確認し、入院、療養中の教育支援を実施。 <p>○がん患者医療用補整具助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の公的支援制度がない20歳から39歳までの若年がん患者に対し、化学療法・放射線療法による脱毛や手術療法による乳房切除など、がん治療による外見変貌を補完する医療用ウィッグ、乳房補整具等の購入費用を助成することにより、がん患者の方の心理的負担を軽減するとともに、治療と社会参加等の両立を支援し、療養生活の質の向上を図る。

4. がん対策を支える基盤の整備

■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	進捗状況	参考	令和5年度の取組み(見込みも含む)
(1) 医療の従事者	□高度がん養成基盤プログラム受講者数	香川県がん診療連携協議会	12名 H29年度	17名 R5年度			<p>○がん医療に専門的に携わる医療従事者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 香川大学等において、「中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム」によるがん医療に専門的に携わる医療従事者を育成。 <p>○地域がん診療連携拠点病院支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点病院が行うがん医療に従事する医師等への研修、がんの相談支援及びがんに関する情報提供等に対し補助。
(2) が推進教育の	□がん教育の実施学校数 小学校 中学校 高校	健康福祉総務課調(H29) 文部科学省調(R4)	114/162 42/74 12/42	H29年度 R4年度	122/150		<p>○がん教育推進事業等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内公立学校の希望校に対して、文部科学省令和5年度がん教育等外部講師連携支援事業を活用し、ゲストティーチャーを派遣。がんや県のがん対策についての教職員の理解促進を図るため、県ホームページに県のがんに関するデータを掲載。 がん教育協議会等で事業の実施報告とがん教育の在り方を検討する。 がん教育に造詣の深い講師等を招き、教職員・外部講師等対象のがん教育研修会(オンデマンド)を開催。